

# 子ども教育学科(2010年度新設) ニュースレター

「新しい人」として夢と希望をもって  
学びを深めることができるように



人間発達学部子ども教育学科  
教授 黒川 久美

東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに亡くなられた方々へ深い哀悼の意をささげます。被災地の皆さまの胸中に思いを寄せ、息の長い支援を続けていくことができればと思います。

今回の地震・津波では、学校の先生や保育士、福祉施設の職員が救助・救援に大きな役割を果たしておられる様子がたくさん伝えられてきました。「保育園は津波で流されてしまったけれど園児は全員無事避難させました!」と話す保育士、子どもの安否確認に避難所や子どもの自宅を一軒一軒回り、子どもたちと涙の再会をする教師、避難所になった学校で、食糧や救援物資の支給体制づくりにリーダーシップを発揮する先生、自らの住まいも被災し、家族の安否もわからない中にも懸命にケアやサポートをする福祉施設職員などなど…。教育・保育・福祉の仕事の土台は、「いのちと向き合い、いのちを守ること」であることを、そして教育・保育・福祉の仕事は高いミッション性を有するものであることをあらためて実感したところです。

ある哲学者が未曾有の大災害を前にして「禍の経験を希望につなぐために」と題した小論を雑誌に寄稿されていますが、私たちも小学校、幼稚園、保育園の先生をめざす学生たちと共に、教育・保育の営みの根幹にあるものは何か、人間が「生きる」とはどういうことか…こうした問題を掘り下げて考える機会にもしていきたいと思っています。

新入生が加わり学生数が倍増した子ども教育学科は、教員もお二人が新たに着任されて16名のフルスタッフとなり、すいぶんにぎやかになってきました。どちらかというと穏やかでおっとりタイプの2年生に比べ、1年生は元気で活発な学生が多いように感じます。私の保育原理の授業で、4月始まって間もない頃、「パードウォッチング」ならぬ「親子ウォッチング」という、地域の商店や公園、道路などで出会った親子の会話を採取する課題を出したところ、どの学生も大張りきりで「ウォッチング」を実行してきて、「おもしろかった!」と口々にいいます。自分たちで採取したエピソードを交流・検討する中で、今日の親子子どもについていくつもの大事な発見がありました。学生たちの持つ行動力を発揮できるような舞台づくりをこれからもしていきたいものです。

小学校、幼稚園への「観察実習」を目前にした2年生は、授業に臨む眼差しにも真剣さが増し、少し緊張感のある表情の中に、「観察実習」での学びへの期待感を読みとることができます。学生たちのしなやかな感性でとらえた「子ども感」をもちかえり、大学で「子ども観」へと深めていくことをとおして「新しい子ども」像が描き出されることを期待したいと思えます。

学生たちが「新しい人」として大きな夢と希望をもって、未来の担い手である子どもたちを育てる営みに踏み出していただけるよう、私たち教員も「新しい」学科の創造に一層力を寄せ合って取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様をはじめ関係の方々のご理解、ご支援をどうかよろしくお願いいたします。

## \*黒川久美(くろかわ ひさみ)プロフィール

福岡県生まれ。広島大学教育学部で聴覚障害児の教員養成課程を卒業。同大学大学院では幼児教育学を専攻。32年前から鹿児島に暮らす。専門は、保育・幼児教育、障害児保育・教育、子育て支援論。保育・療育現場の実践家らとの共同研究に長い間取り組んでいる。座右の銘:「教えるとは希望を語ること/学ぶとは誠実を胸に刻むこと」(ルイ・アラゴン)

趣味は旅行、映画(非メジャー系)・演劇(歌舞伎他)・音楽鑑賞、読書。同居家族はパートナー1人と猫1匹。好きな芸能人:歌舞伎役者の尾上菊五郎や中村勘三郎。

## 平成22年度GPA成績優秀者表彰が行われました。

本学部では、学年ごとに累積GPAを算出し、成績優秀者を表彰することになっています。新年度オリエンテーションの行われた4月11日、1年次のGPAが3.5以上だった新2年生が表彰されました。黒木哲徳学部長から表彰状と副賞の図書券を受け取ると、1、2年生が集まった会場からは祝福の拍手がわき起こりました。



最優秀賞  
西留加奈子さん

優秀賞  
前田真里佳さん

優秀賞  
中村健太さん

準優秀賞  
池田麻衣子さん

準優秀賞  
馬場泰代さん

準優秀賞  
甲斐真菜美さん

※人間発達学部では、学生の勉学に動機づけ、励ますために、GPA (グレード・ポイント・アベレージ) という成績評価制度を採用しています。定期試験の成績でS (秀、100~90点) を4.0ポイント、A (優、89~80点) を3.0ポイント、B (良、79~70点) を2.0ポイント、C (可、69~60点) を1.0ポイント、D (不可、59~0点) を0ポイント、R (放棄) を0ポイントとして、 $(4.0 \times S \text{ 評価の修得単位数} + 3.0 \times A \text{ 評価の修得単位数} + 2.0 \times B \text{ 評価の修得単位数} + 1.0 \times C \text{ 評価の修得単位数}) \div \text{総履修登録単位数 (D、Rとなった単位数を含む)}$  で計算されます。



## 新任教員紹介

名前 内田芳夫 (1945年、栃木県出身)  
学位 教育学博士 (東北大学)  
専門分野 障害児心理学、特に脳と行動との関連を実験的手法によって明らかにする発達神経心理学的研究と、小児の言語コミュニケーションに関する臨床活動。  
著書 「障害児の心理学」(青木書店)、「発達障害の探求」(文理閣) など  
趣味 映画・演劇鑑賞  
座右の銘 「忍耐は苦し、しかし、その実は甘し」(野口英世)  
好きな俳優 吉永小百合・仲代達矢  
一言メッセージ 「毎日の日常を丁寧に生きる事が明日への勇気や未来に向けた力を培う原動力である。」



名前 若宮邦彦 (1963年、熊本県出身)  
学位 社会福祉学修士 (日本福祉大学)  
専門分野 社会福祉、ケアマネジメント、スーパービジョン  
趣味 ルアーフィッシング、猫のケア  
座右の銘 「人にやさしく」  
尊敬する人 黒木瞳さん、前田日明  
一言メッセージ 「豊かな創造力と感受性を培いましょう。」



# WELCOME 第2期生 52名が入学



今年度は、県内36名、県外からは16名が入学しました。大学生活を円滑かつ有意義に送ってもらえるよう、人間発達学部では新生と2年生、合わせて7名単位のホーム制をとっており、それぞれを各教員が担当しています。大学生活スタートは、入学式翌日から実施した大隅青少年自然の家での宿泊オリエンテーション。

早速の集団生活でしたが、野外活動や学部を越えてのレクリエーションを通し、大いに親睦を深めました。



授業内容が1つ1つ面白く興味深いものばかりで、「夢かな」という課外授業では教員になるための様々な取り組みがなされています。  
【右: 三瀬美樹 / 都城西高校出身】



先輩や先生方もきめ、皆とても親しみやすいです。  
【右: 今村由 / 都城西高校出身】

南九州大学では地域とのつながりを大切にします。近隣住民の方たちとの交流が、将来教職希望の私にとってプラスになると 생각합니다。  
【左: 石川敬祐 / 宮崎南高校出身】

南九州大学では地域との教師になるために必要なことを学ぶ課外講座もあって教師になるためのサポートが整っています。  
【左: 池崎花笑 / 高千穂高校出身】

## 【第2期生の出身高校】

都城泉ヶ丘、都城西、都城商業、高城、都城聖ドミニコ、都城東、宮崎南、宮崎北、宮崎西、宮崎農業、高千穂、日向、高鍋、小林、鶴翔、日章学園、財部、岩川、鹿児島修学館、神村学園高等部、熊本中央、天草、福岡工業大附属城東、唐津南、那覇西、新潟産業大附属(新潟)、浦和学院(埼玉)、並崎(山梨)、金谷(静岡)、五日市(広島)

## 環境教育センター主催 講演会「デンマークの教育に学ぶ」

4月16日(土)に、デンマークのボーゲンセ国民学校から加藤幸夫先生をお迎えして、講演会「デンマークの教育に学ぶ」(人間発達学部附属・環境教育センター主催)を開催しました。会場となった都城キャンパス学生会館(生協食堂)には、県内外から80名を超える参加者が集い、コーヒー片手にゆったりとした気分で、デンマークの教育の実態について、お話を伺いました。



「北欧の教育」「森の幼稚園」というと、大人は子どもを見守るというイメージが強いのですが、実際には、個々の子どもに合わせた教育目的を明確に持つとともに、子どもたちが自由な発想で遊んだり学んだりできるよう、事前に周到な準備をしているそうです。また、幼稚園から小学校へ子どもたちが円滑に移行できるよう、デンマークでは「学童施設」が重要な役割を担い、そこでは「ベタゴウ」という資格を持ったスタッフが子どもたちの教育を支えており、日本の「学童」の現状とは大きく異なることがわかりました。

休憩の後は、日本における自然を活かした教育の実態、実践の試み、などたくさん話題が会場からあがり、参加した一人ひとりが、デンマークの教育を参考に、自分たちの目指す教育を確認する機会となりました。講演後のアンケートをみると、「自然を活かした教育には、明確な教育指針と周到な準備が必要である」という加藤さんの言葉が、多くの参加者の心に強く残ったようです。参加した子ども教育学科の学生も、加藤さんの話をメモを取りながら熱心に聴講していました。



環境教育センターは、地域・自然環境と教育とを結ぶ講演会(通称:M-CAFE)を今後も開催していきます。講演会の情報は、随時、大学ホームページや環境教育センターのブログにてご案内しますので、是非ご参加ください。

(南九州大学人間発達学部/環境教育センター 遠藤 晃)



# 『夢』を叶える塾

～通称：夢かな～

将来なりたい自分(夢)を見つけ、その夢を実現するために必要な学びの習得を目的とした課外授業です。最終的には、4年間の大学生活を送りながら、自分の将来の「夢」をしっかりとち、自信をもって就職活動にのぞむための取組みです。

## 夢かなⅠ 【1年生対象】



社会で活躍されている方をお招きして、「夢」について語って頂きます。年間30回程度を予定しています。昨年度は、長峯都市市長をはじめ、会社経営者、教育関係者など、様々な職種の方をお招きして、とても楽しく、示唆に富んだお話をいただきました。

学生たちからは「夢を叶えたい気持ちが高める事が出来た」「先生になりたいという気持ちを考える機会となった」「教育現場の問題を身近に感じた」「なんとなく励まされ、あきらめない心が大切だと分かった」の感想が聞かれました。

## 夢かなⅡ 【2年生対象】



小学校教員、幼稚園教員、保育士採用試験の基礎的・基本的な内容を中心に、本学科の教員に加え外部講師の指導で行います。年間30回程度を予定しています。

### ◇小学校教員希望者

教員採用試験で実施される「教職教養」と「教職専門」の2つの講座

### ◇幼稚園教員・保育士希望者

「絵本・紙芝居」「手遊び」「制作活動」など、専門的な技能の向上を高める講座

また、大学就職課が主催する「業界研究・職種理解セミナー」「就職情報講座」などのセミナーも「夢かな」に位置づけて、学生たちの職業観をさらに広げ、スキルアップを図るようにしています。

来年度からは、3年生に進級する学生を対象として、「夢かなⅢ」を開講し、さらに就職支援と一体化させた内容にします。

### ●夏のオープンキャンパス

1 期日 平成23年7月17日(日)・8月28日(月)

2 日程 11:00～16:00(10:30受付開始) 学部・学科紹介・在学生との交流 等

### ●入試情報

1 AO入試【出願期間】平成23年8月1日(月)～平成24年2月29日(水)まで随時

2 特待生推薦入【出願期間】平成23年10月3日(月)～10月18日(月)

◎入試に関するお問い合わせ先 ▶TEL0120-3739-20

※各種奨学金制度についてはお問い合わせ下さい。▶TEL0120-3739-20

### ●資格取得のお知らせ

①小学校教諭一種、②幼稚園教諭一種、③保育士(国家資格)卒業と同時にこの3種類の資格を同時に取得する事が可能です。また、保育士の資格を活かし、児童福祉関連施設での活躍も期待されます。

### ●近く上海師範大学と姉妹校になることが予定されています

そうなりますと、次年度より子ども教育学科の学生が「中国上海師範大学対外漢語学院」で中国語及び中国教育について短期研修を受けることが可能になります。

子ども教育学科のブログ

<http://nankyudai.exblog.jp/>  
こちらから簡単アクセス⇒⇒⇒



# 子ども教育学科(2010年度新設) ニュースレター

## 学生と共に学ぶ



人間発達学部子ども教育学科  
教授 神田 嘉延

南九州大学に赴任して1年半になります。学生と共に楽しく教育と研究に励んでいる日々です。授業は、「地域と子ども」「子ども支援地域活動」「教育と社会」「現代社会と子ども」などを担当しています。

「地域と子ども」では、地域のなかで子どもが育つということを話しています。学校・家庭・地域がひとつになって心豊かな未来をつくりだすために、学生と共に考えていく授業を展開しています。地域の人の話を聞いたり、里山の子育ての実践のビデオをみたり、本を読んだりしています。ときには、学生主体にグループわけをして議論させることもしています。

「子ども支援地域活動」は、「地域と子ども」の授業と連動して、ボランティア活動のなかで学ぶことを目的としています。この授業では、様々な地域の子育てボランティアを紹介し、その活動を奨励して、体験をとおして、学んだものをしっかり自分のものにしていけるように考えています。学生が自分自身の興味に即して、主体的に学べるようにしています。このことから、学生のボランティア参加には生き生きとしている姿が伝わってきます。

大学の教師として、学生から元気づけられる場面もみることが出来ます。ボランティアの経験もはじめてという学生もあり、社会的貢献に喜びの初々しさを見る反面、いたらぬところも目にします。しかし、それも大きな成長のひとつとして、青年期の教育を大切に、学生の輝きの自主性を最大限生かしながら、援助の工夫をしているところです。

「教育と社会」は、教科書を教育六法にして、教育のルールや理念の基礎を勉強しています。学生にとってはじめての法規の学習でありますので、難しい、難しいとうなります。大学教師としても、どうしたら、難しい教育法規を楽しめるのかと、悩みの日々です。将来、小学校、幼稚園、保育などの現場にたつたときに、これだけは知ってほしいということをきちんと学ばせる役割もあると思っています。

授業以外でも気軽に学生たちが研究室に遊びに来てくれることも幸せです。街であつたときも大きな声で、わたしの名前をよんでくれるのもうれしくなります。

将来は様々な仕事に就いていくと思いますが、南九州大学人間発達学部で学んだことが、人生の大きな精神的な支えになってもらえたらと日々大学教師として、老骨に鞭打って精進している次第です。

### \*神田 嘉延 先生 プロフィール

北海道大学教育学研究科教育社会学専攻 博士課程単位終了満期退学博士(教育学)

#### 主な職歴

- ・1985年 鹿児島大学教育学部教授
- ・2008年 鹿児島大学教育学部退職して、鹿児島大学福盛アカデミー特任教授

#### 研究テーマ

地域と学校をとくに僻地教育に、農村の循環型社会形成のための人づくりを具体的な環境問題の克服と教育のなかで、例えば、家畜糞尿問題を土づくりに展開し、循環型地域社会をどのように形成していくのか、そのための人づくりのための学校教育の課題など。

趣味・好きな俳優 家庭菜園、マラソン、登山、西田敏行

#### 主な著書

- ・神田嘉延編「環境問題と地域の自立的発展—離島へき地を中心として—高文堂出版  
(科学研究費補助金研究成果公開促進費の交付)
- ・単著「むらの教育口マン—へき地からの教育改革」鹿児島学術文化出版
- ・単著「学校再生論の礎石改訂版」高文堂出版
- ・単著「村づくりと公民館」高文堂出版
- ・単著「地域づくりは人づくり」鹿児島学術文化出版

## 観察実習を終えて

6月1日から3日間にわたり、小学校教諭・幼稚園教諭免許取得を目指す2年生たちは、「観察実習」へ行きました。この実習は、その名の通り、教育・保育の実際や子どもの様子をつぶさに観察し、構造的に把握できる観察力の形成が主な目的です。

学生達は、座学だけでは学べない「教育現場の今」を実地に学ぶことで、改めて大学での日頃の学習の大切さを痛感し、来年度の教育実習に向けて各々の課題に意欲的に取り組むなど、一回りも二回りも成長したようです。

観察実習では沢山のことを感じ、考えました。幼稚園の先生方は園児達みんなが活動に取り組めるよう計画し、指導されていました。子どもの発達段階をきちんと把握しながら、バラエティ豊かな教育を展開している現場を実際に自分の目で見て、現場で活躍する先生とお話することで更に幼稚園についてや、教育についての思いを深めることができました。

また、幼稚園での日々の活動を観察して、考えや指導法だけではなく、ピアノの技術や自然・生物についての知識も重要だということを改めて感じました。来年の教育実習に向けて、これからもっとピアノを練習して、身のまわりの環境から生まれる心の動きを育てられるように頑張りたいです。



藤松 琴乃さん

3日間の観察実習で一番印象に残っているのは、道徳の授業です。3年生と6年生の道徳では、「命」という大きなテーマのものでしたが、先生の工夫が随所に見られました。また、1年生の道徳で行っていた「ソーシャルスキルトレーニング」は、大学で習ったことを実際に見ることができ、とても勉強になりました。自分が教師になった際に、子どもたちに教えてあげたいことのひとつとなりました。それぞれの先生の授業に対する工夫を感じ、授業中だけでなく休み時間や給食時間などの児童の様子を見ることができて、いろんなことを考えさせられました。これから自分がすべきことを明確にし、来年の教育実習に備えたいと思います。



黒木 大翔さん

## 連携拠点校として

三股町立三股西小学校  
校長 清水 聡

本校は南九州大学人間発達学部子ども教育学科の連携協力校として、都城地区の他の5校と共に、学生の受け入れを行っています。2年目となる今年度は、教育実習期間（6月）に合わせ、2年生6名を観察実習生として3日間受け入れました。

朝、児童玄関で「おはようございます。」と元気のよい声で子どもたちを迎えることから始まり、教室に入って授業を参観したり、昼休みの遊びや清掃活動で共に汗を流したり、放課後には記録簿を書いたりなど、学生たちの真摯な実習態度から、大学によるきめ細かな事前の指導を感じました。

学生たちは、自分なりの視点をもって観察実習に臨んでいました。課題をつかませるための導入時の工夫や発問の在り方、展開やまとめの仕方、板書の工夫、児童理解の手だて等、この観察実習で経験し学んだ一つ一つのことが、今後さらに大学での理論面の裏付けを得て、来年度の基本実習につながっていくものと期待しています。



## 【第2期生の出身高校】

都城泉ヶ丘、都城西、都城商業、都城農業、高城、都城聖トミニコ、都城東、宮崎南、宮崎北、宮崎西、宮崎農業、高千穂、日向、高鍋、小林、鵜翔、日章学園、財部、岩川、鹿児島修学館、神村学園高等部、熊本中央、天草、福岡工業大附属城東、唐津南、那覇西、新瀨産業大附属（新潟）、浦和学院（埼玉）、葦崎（山梨）、金谷（静岡）、五日市（広島）

# 市民講座

## 第2回 教育シンポジウム

# 「学力向上」開催

(共催:都城市)

今回で2回目となるこのシンポジウムは、都城市からのご支援をいただき、130名を超える参加がありました。ゲストは、フィンランドからお招きした、心理学・教育学が専門のハッカライネン教授と幼児教育の専門のプレディキュ博士のお二人でした。



ハッカライネン教授は、フィンランドの教育システムや世界的に高い学力が維持されているその訳についてお話しいただきました。特に、0歳児から就学前までの乳幼児が利用するデイ・ケア・センターに始まり、コンプリヘンシブ・スクールと呼ばれる9年制の義務教育(いわば小中一貫校)が続くフィンランドの早期教育はとても魅力的でした。

プレディキュ博士は、就学前の「子どものあそび」の重要性についてお話しいただきました。参加



者からの「読み聞かせの工夫」についての質問に、「単に絵本の絵を見せて語るのではなく、目の前で自ら絵を描いてあげながら物語を語ったり、動物のぬいぐるみや指人形を使ったり、または物語を歌にして歌ってみてはどうか」というアドバイスがありました。

翌日からお二人は、本学部の連携拠点学校園である三股西小学校や天竜学園の研修会に参加され、先生方との意見交換をされました。また、都城西高等学校の生徒を対象とした講演会も行っていました。この講演会では、本学部1年生の渡瀬美樹さんと今村由さん(ともに都城西高等学校出身)が、お二人の紹介を英語で行いました。高校の後輩達から大きな拍手をいただきました。

非常にハードなスケジュールにもかかわらず、終始にこやかなお二人のお人柄には感動しました。

## 講演会の風景



## 環境教育センター主催

# 講演会「子どもがいきいきと語りだす授業」

8月6日(土)、都城キャンパス学生交流会館に於いて、環境教育講演会M-CAFE「小学校・へき地校の挑戦—子どもがいきいきと語りだす授業」を開催しました。今回の話の舞台は沖縄の慶留間(げるま)島—そこで暮らす小学生の「総合的な学習の時間(以下、総合学習)」について、本学の遠藤晃准教授と慶留間小学校の仲村出(いす)先生にお話を伺いました。



慶留間小の児童は、3、4年生の総合学習において、2年間かけて島に生息する天然記念物ケラマジカの研究をし、その研究成果を沖縄の生物学会で発表しています。この教育実践に長年携わっている遠藤准教授は「シカの研究」というのは一つの手段であって、大切なのは、子どもたちが自分で疑問を見つけ、解決し、それを表現すること、そして、このプロセスを通じて主体性や生きる力を育てることだと述べ、地域の自然を活かした総合学習の意義について指摘しました。また、昨年、慶留間小に赴任した仲村先生は、当初、なかなかテーマが定まらないように見える子どもたちに「焦り」を感じていたが、毎回の山歩きの後には書かせるメモを通じたやりとりのなかで、子どもたちは着実に「なぜ？」を見つけていることに気づき、そのいきいきとした姿に、「待つことの大切さ」をあらためて知ったとお話されました。



今回のM-CAFEにも、小学校の先生をはじめ、大勢の方々にご参加いただき、沖縄音楽の流れるリラックスした雰囲気なか、コーヒーと沖縄銘菓「ちんすこう」を楽しみながら、総合学習の持つ可能性について皆で考える充実したひとときとなりました。

環境教育センターは、地域・環境と教育とを結ぶ講演会M-CAFEを今後も開催していきます。その情報は、随時、大学HPや環境教育センターのブログにてご案内しますので、是非、ご参加ください。

(南九州大学人間発達学部・環境教育センター 磯部 美良)



# 『夢』を叶える塾

～通称：夢かな～

将来なりたい自分(夢)を見つけ、その夢を実現するために必要な学びの習得を目的とした課外授業です。最終的には、4年間の大学生活を送りながら、自分の将来の「夢」をしっかりとち、自信をもって就職活動にのぞむための取組です。

## 夢かなⅠ 【1年生対象】

1年生対象に行われます。社会で活躍されている方をお招きして「夢」について語っていただきます。前期はすでに15回行いました。後期は、長峯都城市長はじめ、保育士、幼稚園や小学校の先生等をお招きして10回程度行う予定です。

## 夢かなⅡ 【2年生対象】

2年生対象で行われます。小学校教員、幼稚園教員、保育士採用試験の基礎的・基本的な内容を中心に、本学科教員に加えて外部講師の指導で行います。前期はすでに15回行いました。後期も、毎週1回(小学校教員希望者は毎週2回)行う予定です。特に、小学校教員希望者は、来年1月に予定しています「全国教員採用模擬試験」に向けて勉強に励むこととなります。



わらべ唄講習会



小学校・幼稚園の先生との  
フリートーク



OB夢を語る



読み聞かせ発表会



観察実習報告会(1年生へ)

## 入試情報

- 1 特待生推薦入【出願期間】平成23年 8月 1日(月)～10月18日(月)
- 2 推薦入試 Ⅰ期【出願期間】平成23年11月 1日(火)～11月 9日(水)  
Ⅱ期【出願期間】平成23年12月12日(月)～12月26日(月)
- 3 推薦入試 Ⅰ期【出願期間】平成24年1月17日(火)～2月 1日(水)  
Ⅱ期【出願期間】平成24年3月 1日(火)～3月14日(水)  
Ⅲ期【出願期間】平成24年3月19日(月)～3月26日(月)
- 4 センター Ⅰ期【出願期間】平成24年1月17日(火)～2月 3日(金)  
試験入試 Ⅱ期【出願期間】平成24年3月 1日(火)～3月16日(金)  
Ⅲ期【出願期間】平成24年3月19日(月)～3月26日(月)
- 5 AO入試 平成23年8月1日～平成24年2月29日まで随時

※詳細は入試要項でご確認ください。

## 入試に関するお問合せ先

TEL / 0120-3739-20

各種奨学金制度については  
お尋ねください。

TEL / 0120-3739-20

## 子ども教育学科のブログ

<http://nankyudai.exblog.jp/>

こちらから簡単アクセス⇒



